

平成28年度

全国英語教育学会・小学校英語教育学会

第3回英語教育セミナー

関西英語教育学会 第40回KELESセミナー

< 講演 >

「小中の英語教育で求められるもの：
次期学習指導要領を踏まえて」

酒井 英樹
信州大学

< セミナー① >

「小学校外国語活動におけるチャンツの効果と指導法」

真崎 克彦
関西大学非常勤，元兵庫教育大学附属小学校

< セミナー② >

「英語教育におけるCAN-DO評価とパフォーマンス評価」

泉 恵美子
京都教育大学

テーマ	小学校英語早期化・教科化にあたり小中英語教育を考える
日時	2017年3月11日（土） 12:30 - 16:30
会場	龍谷大学梅田キャンパス 研修室 http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_osaka.html
主催	全国英語教育学会・小学校英語教育学会 関西英語教育学会
参加	JASELEウェブ受付 http://www.jasele.jp/seminar_2016_3/ *定員90名になりしだい受付終了（参加無料） 問い合わせ：JASELE研究企画部 羽山 恵 (meghayama@dokkyo.ac.jp)

平成28年度 全国英語教育学会・小学校英語教育学会

第3回英語教育セミナー

関西英語教育学会 第40回KELESセミナー

日 時	2017年3月11日(土) 12:30-16:30
会 場	龍谷大学梅田キャンパス 研修室 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト オフィスタワー14階 http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_osaka.html
日 程	<p>受付 12:00-12:30</p> <p>開会 12:30 司会：羽山 恵 (獨協大学)</p> <p>1. 講演 12:40-13:50 「小中の英語教育で求められるもの：次期学習指導要領を踏まえて」 講師 酒井 英樹 (信州大学)</p> <p><休憩 13:50-14:00></p> <p>2. セミナー① 14:00-15:00 「小学校外国語活動におけるチャンツの効果と指導法」 講師 真崎 克彦 (関西大学非常勤, 元兵庫教育大学附属小学校)</p> <p><休憩 15:00-15:20></p> <p>3. セミナー② 15:20-16:20 「英語教育におけるCAN-DO評価とパフォーマンス評価」 講師 泉 恵美子 (京都教育大学)</p> <p>閉 会 16:30</p> <p>*閉会后、「民生 ヒルトンプラザウエスト店」にて懇親会を 開催します。(17時00分開始予定、大会参加申込時事前申込制)</p> <p>会費は5,000円を予定しております。</p>

要 旨

【講 演】

『小中の英語教育で求められるもの：次期学習指導要領を踏まえて』

講師 酒井 英樹 信州大学

中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会教育課程企画特別部会によって平成28年8月にまとめられた「審議のまとめ」に基づいて、次期学習指導要領の改訂作業が進められている。この方向性を踏まえて、小学校及び中学校の外国語活動・外国語科で求められるものについて、特に(1)「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性等」を三つの柱とする資質・能力と(2)小中連携に焦点を当てて話をしたい。

【セミナー①】

『小学校外国語活動におけるチャンツの効果と指導法』

講師 真崎 克彦 関西大学非常勤, 元兵庫教育大学附属小学校

小学校の外国語活動では、児童の意欲づけを図るために、チャンツが活用されています。本セミナーでは、チャンツのもつ音声面の効果に焦点を絞り実践例を紹介します。自作チャンツを活用し、英語音声における「シラブル感覚」や、「アクセント感覚」を習得する過程を体験していただきたいと思います。また、Apple社製のフリーソフト「Garage Band」を使って、チャンツ教材を自作する方法も簡単に説明させていただきます。

【セミナー②】

『英語教育におけるCAN-DO評価とパフォーマンス評価』

講師 泉 恵美子 京都教育大学

現在、英語教育では、「英語を使って何ができるようになるか」という観点から学習到達目標を設定し、指導・評価方法を改善することが求められています。また、筆記テストのみならず、ポートフォリオ評価やルーブリックを用いたパフォーマンス評価など様々な評価方法を用いることが求められています。そもそも評価とは何か、望ましい指導と評価とはどのようなものかなど、CAN-DOとパフォーマンス評価を中心に考えたいと思います。

